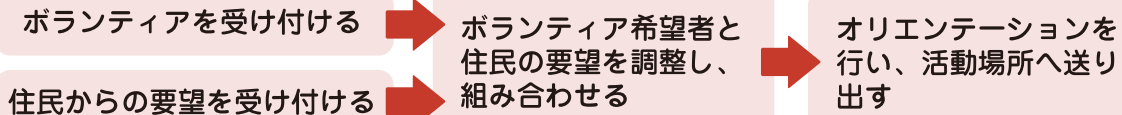


## 多治見市災害救援ボランティアセンターの紹介

多治見市で大規模災害が発生すると、多くのボランティアが駆けつけ、さまざまな活動を展開することが予想されます。災害救援ボランティアセンターの主な役割は、災害からの復旧を目的に、被災地で活動を希望するボランティアと、支援を必要とする住民の要望との調整(コーディネート)です。

活動の内容は、家屋内の片付け、屋外の堆積ごみの分別、土砂の搬出、荷物の運搬など、さまざまです。

### コーディネートの流れ



大規模災害が発生すると市災害対策本部、県社会福祉協議会と連絡調整を行い、多治見市社会福祉協議会が設置します。

設置場所	総合福祉センター(太平町)
従事者	①総合福祉センターに勤務する市社会福祉協議会の職員 ②多治見市笠原町災害救援ボランティア ③ボランティア、関係機関・団体



円滑な運営には、被災地の地理の把握や方言の理解など、地元の方の協力が必要です。地元の方は復旧活動のほかに、災害救援ボランティアセンターでボランティアと要望を調整するコーディネーターとしての役割を担います。

## 福祉委員の活動紹介

多治見市社会福祉協議会は、自治会の協力を得て、町内会単位に福祉委員を設置しています。福祉委員は、民生児童委員や地域のボランティア、自治会関係者と協力し、住みよい福祉のまちづくりを進めるために、サロン活動や見守り・声かけなど、支え合い活動を行っています。

### 第2回福祉委員長会議

10月16日(土)、総合福祉センターで第2回福祉委員長会議を開催しました。今回は、10区福祉委員長が福祉委員、自治会、民生児童委員の連携した活動を発表、中部学院大学短期大学の飯尾教授が「小地域における福祉活動への期待と進め方」と題し、地域での見守り体制のネットワーク化の必要性とその効果について講演しました。



### 37区福祉委員会 (昭和地域)

毎月第2・4火曜日に多治見苑公民館(大畑町西仲根)で、子育て中の親と子が集い、交流する子育てサロン「ヤングママサロン37」を開催しています。おしゃべりを中心に、新聞紙を使った作品づくりや五平もちづくり、季節行事など、地域のボランティアと協力して企画、運営しています。

